

科目名	高齢者理学療法学	担当教員	伊藤 俊一 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	----------	------	---------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻	専門科目	選択	3年次	前期	1単位	講義
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR31BCD	②、③					

科目概要	本科目では、老年症候群（フレイル・サルコペニア・ロコモティブシンドローム）を中心とした理学療法の評価、治療および高齢者のリスク管理について講義を行う。
学習目標	① 本邦における高齢化の実態と社会問題について説明できる。 ② 老年症候群の概念について説明できる。 ③ 講義した疾患に対する高齢者理学療法評価とアプローチのポイントを説明できる。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	高齢者の特質の理解	高齢化の実態と世界および日本に於ける社会問題	高齢化の実態と高齢化に伴う社会問題を理解する。	
2	老年症候群について	老年症候群の概要と対策	老年症候群に対するリハの重要性と具体的対策を理解する。	
3	高齢者の運動機能・認知機能評価	高齢者の運動・認知機能評価方法と評価意義	高齢者の運動・認知機能評価と評価意義について理解する。	
4	高齢者理学療法学各論. 1	転倒・骨折予防に対する理学療法	転倒に対する機能評価と理学療法アプローチのポイントを理解する。	
5	高齢者理学療法学各論. 2	メタボリックシンドローム及び内部疾患に対する理学療法	メタボリックシンドローム及び内部疾患に対する機能評価と理学療法アプローチのポイントを理解する。	
6	高齢者理学療法学各論. 3	認知症等に対する理学療法	認知症に対する評価と理学療法アプローチのポイントを理解する。	
7	高齢者理学療法学各論. 4	高齢者の状態に応じた支援や目標設定	在宅、通所リハなどを含め、高齢者の状態に応じた理学療法の視点を養う。	
8	高齢者理学療法の今後について	高齢者理学療法における今後の課題と展望	高齢者理学療法の課題と今後の可能性について理解する（課題）。	
評価方法		定期試験（90%）、課題（10%）		
課題に対するフィードバック		1. 講義中、講義終了後に質問を受けて回答する。 2. 試験の解説は別途時間帯でも対応する。		
教科図書		特に指定しない（資料配布）		
参考図書		島田裕之 ほか、『高齢者理学療法学』医歯薬出版, 2017年 池添冬芽 ほか、『理学療法学テキスト、高齢者理学療法学』MEDICAL VIEW 社, 2020年		
学習の準備		1. 老年学や健康増進障害予防概論の内容および参考図書の該当箇所を熟読しておく（30分） 2. 授業中に配布した資料を見直し、専門用語の意味等を理解しておくこと（60分）		
オフィスアワー		毎週火曜日～金曜日 8:30～17:00		

担当教員欄に※印を 附した教員の実務経 験	
-----------------------------	--